

## TOTO

## 洗濯機用2ハンドル湯水混合水栓

TWA21型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



# 1 安全上の注意



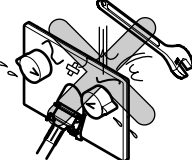
(安全のために必ずお守りください)


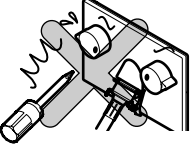

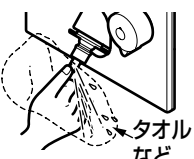

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意	
	<b>給湯温度は85℃より高温で使用しない</b> 85℃より高温で使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。なお、洗濯機に給湯する場合は洗濯機の上限温度にご注意ください。 
	<b>強い力や衝撃を与えない</b> 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 

注意		
	<b>修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しない</b> 故障や水漏れの原因になります。 	
	<b>水抜きする場合は必ず手を保護したうえで行う</b> 給湯用としてご使用の場合、たまっている湯が出て、やけどをするおそれがあります。 	
	<b>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く</b> <b>また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照のうえ、凍結予防を確実に実施する</b> 部品が破損して水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 	

## 2

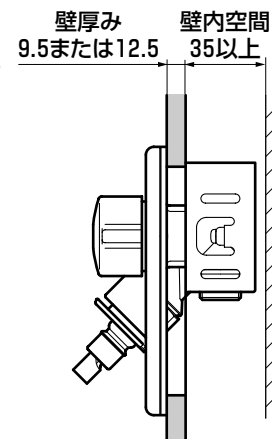
## 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下 ※洗濯機に給湯する場合は、洗濯機 の上限温度にご注意ください。
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅洗濯機用

## 3

## 取り付け前に

- 本商品は壁厚み9.5mmまたは12.5mm以外のボード（壁）には取り付けできません。壁厚みを確認のうえ、施工してください。
- 壁内空間は35mm以上確保できるか確認のうえ、施工してください。35mm未満の壁内空間では取り付けできません。

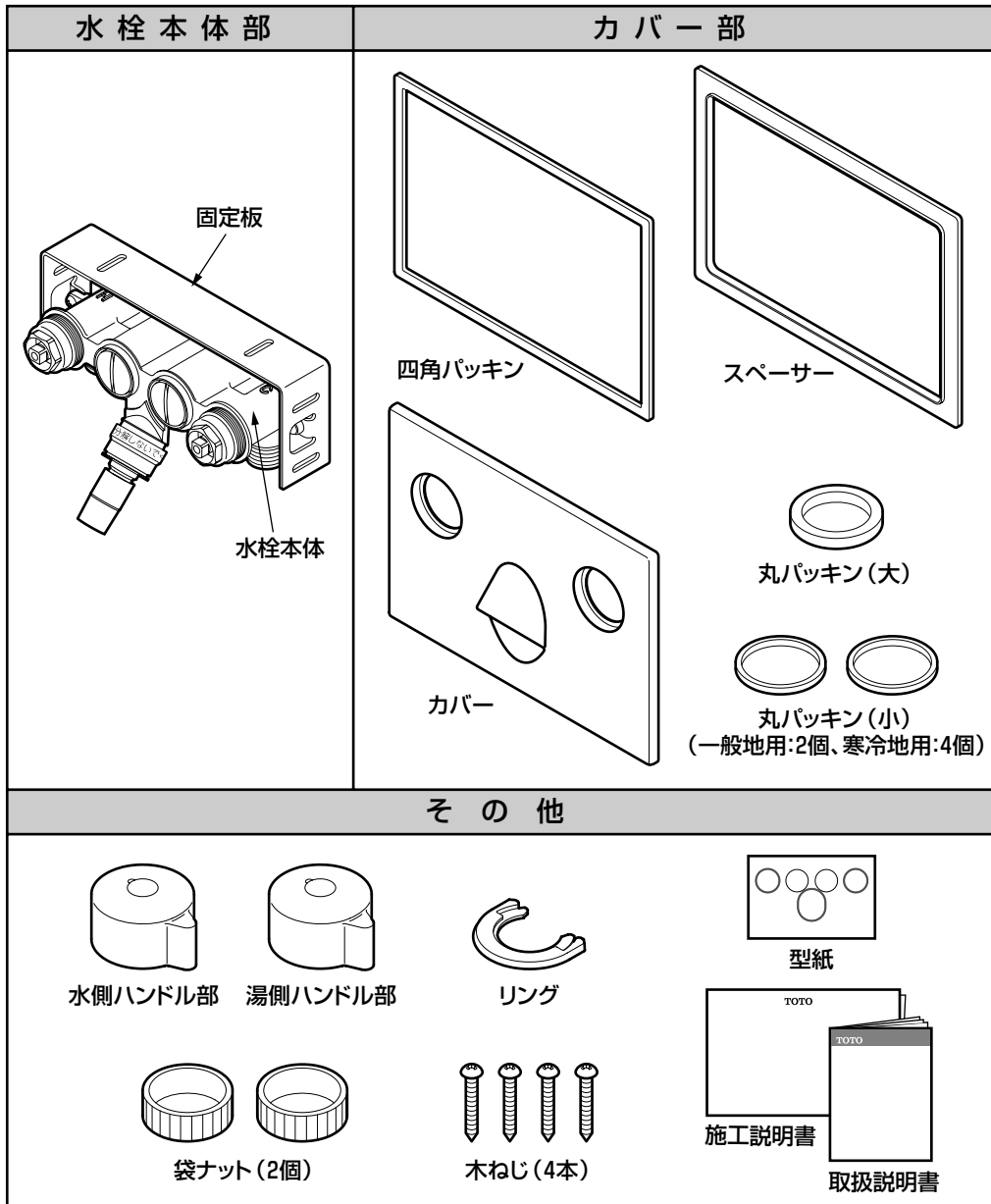


- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の水圧をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。
- やけど防止や配管保護のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

# 4

## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

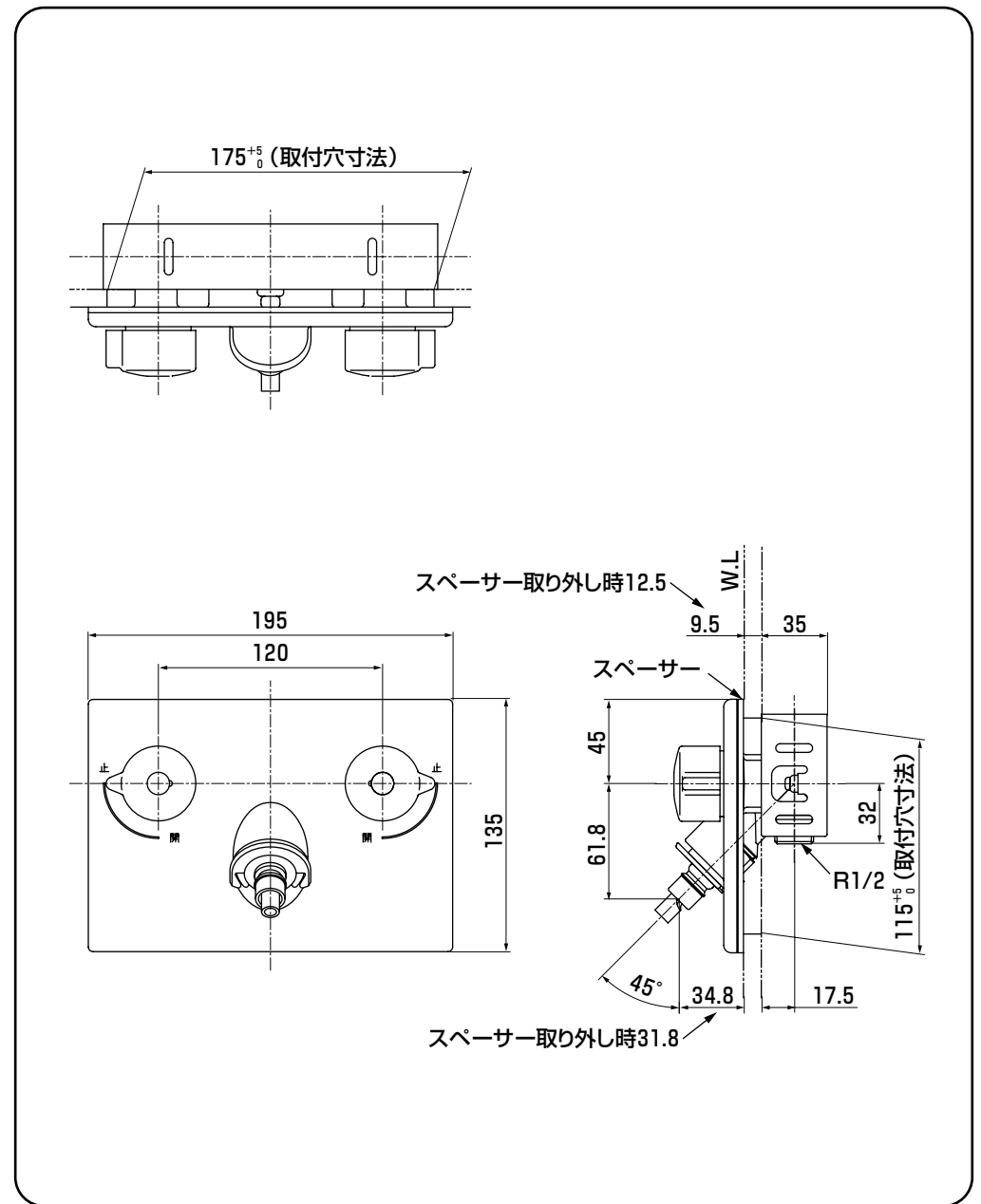


※品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。

# 5

## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



A5 耐圧検査

A6 型紙の取り付け

B4 型紙の取り付け

B7 耐圧検査

A7 壁はりと穴あけ  
B5 壁はりと穴あけA3 水栓本体の取り付け  
B6 樹脂管の通管と  
水栓本体の取り付け9 ハンドル  
の取り付け

10 リングの取り付け

8 カバーの取り付け

2 固定板の  
取り付け1 給水・給湯管  
内の清掃A4 給水管の接続  
B3 さや管の敷設

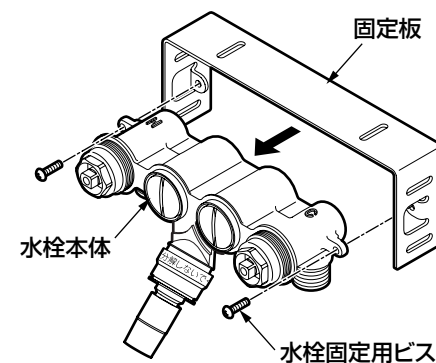
## 1 給水・給湯管内の掃除

取り付けの前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

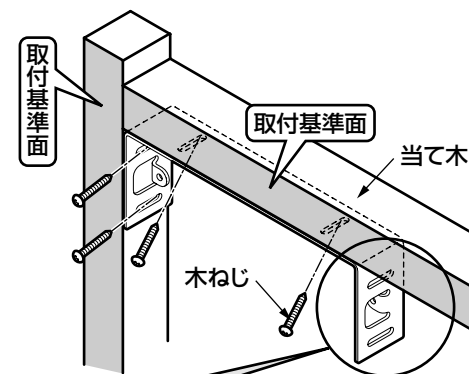
重要

## 2-1 固定板の取り付け

① 水栓固定用ビス (2カ所) をドライバーで外し、固定板から水栓本体を外す。



② 取り付け高さを考慮して、当て木などを設け、固定板の側面2カ所、上面2カ所を木ねじで取り付ける。



## 注意

固定板の向きに注意して取り付けてください。

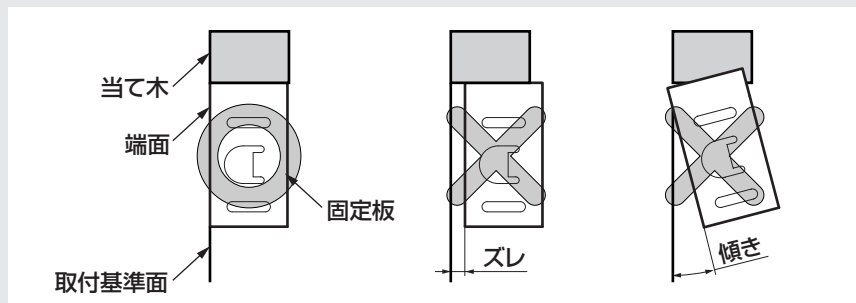
逆向きに取り付けると、カバーが取り付けられなくなるおそれがあります。

前側  
後側

## 2-2 固定板の取り付け

## 注意

- 固定板の端面と取付基準面が一致するように取り付けてください。ズレや傾きがある場合は、木ねじをゆるめ、再度位置を調節して±1mm以内に取り付け直してください。ズレや傾きがあると、ハンドルとカバーが干渉したり、リングが取り付けられなくなるおそれがあります。



- 当て木には35mm×35mm以上の間柱材などを用いてください。
- 必ず固定板の二面を当て木などに取り付けてください。一面のみの取り付けですと、ガタツキにより破損が生じ、水漏れの原因になります。
- 固定板はガタツキが出ないように強固に取り付けてください。ガタツキにより破損が生じ、水漏れの原因になります。

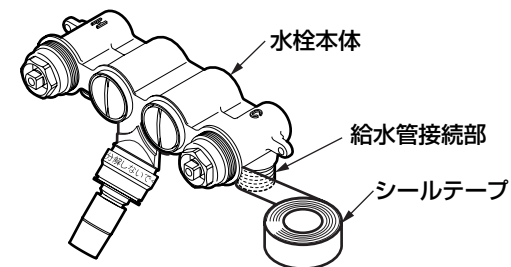
※以後の工程は給水管の種類により異なりますのでご注意ください。

給水管の種類	参照工程
『従来給水管(鋼管・塩ビ管など)』『被覆樹脂管』	6-2 - A3 へお進みください
『さや管』(内部樹脂管の更新性あり)	6-4 - B3 へお進みください

## A 『従来給水管(鋼管・塩ビ管など)』『被覆樹脂管』の場合

## A3 水栓本体の取り付け

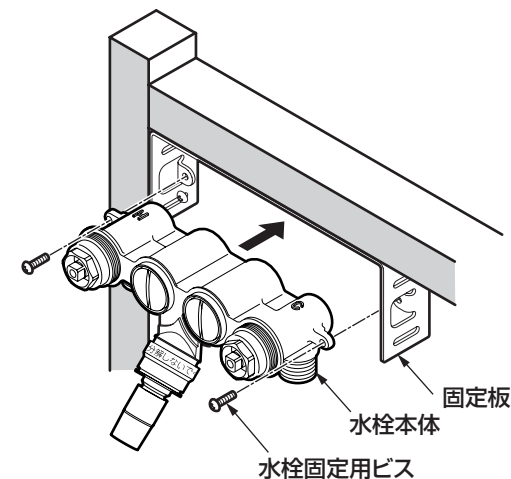
- ① 水栓本体の給水管接続部にシールテープを巻く。(2カ所)



- ② 水栓固定用ビス(2本)を締め付けて、水栓本体を固定板に取り付ける。

## 注意

水栓本体はガタツキがないように強固に取り付けてください。ガタツキにより破損が生じ、水漏れの原因になります。



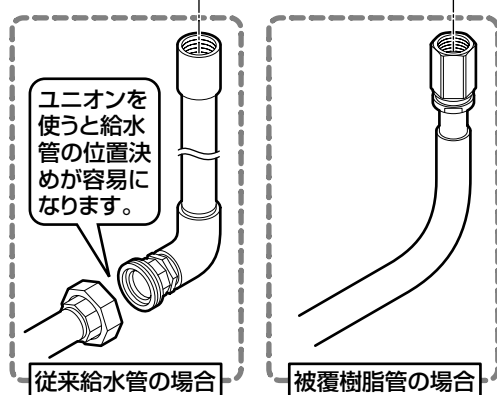
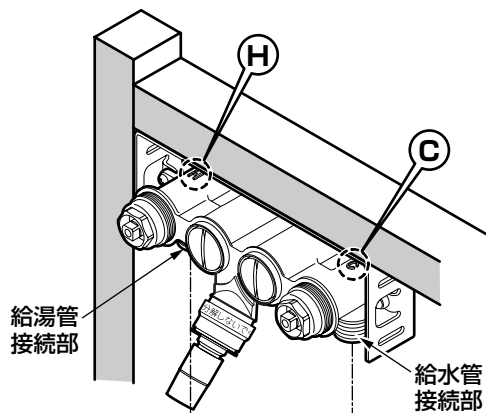
## A4 給水・給湯管の接続

水栓本体の給水・給湯管接続部に給水・給湯管をねじ込む。

## 注意

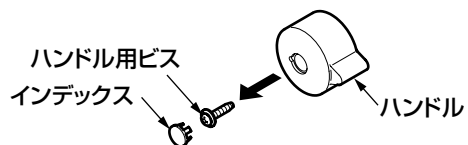
●水栓本体に表示されているC(水側)・H(湯側)マークを確認のうえ、逆に接続しないように注意してください。やけどの原因になります。

●位置決めが不完全な状態の従来給水管を無理にねじ込んで接続しないでください。水栓本体に無理な力がかかり、破損が生じ、水漏れの原因になります。



## A5 耐圧検査

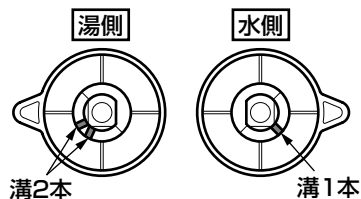
①ハンドルの裏側からハンドル用ビスを押し、ハンドルからインデックス・ハンドル用ビスを取り外す。  
※青色インデックスのハンドルが水側、赤色インデックスのハンドルが湯側です。



②ハンドルのレバーを下向きにしてハンドルを差し込む。  
※ハンドルのレバーが下向きの場合が「開」の状態です。バルブは「開」の状態です。工場出荷されています。

## 注意

湯側ハンドルか、水側ハンドルかわからなくなった場合は、ハンドル裏の目印で判別してください。



③養生キャップを外し、緊急止水弁を押して、給水管にたまったエアーを抜く。  
④水側ハンドルのレバーを反時計回りに止まるまで回し、湯側ハンドルのレバーを時計回りに止まるまで回し、耐圧検査を実施する。

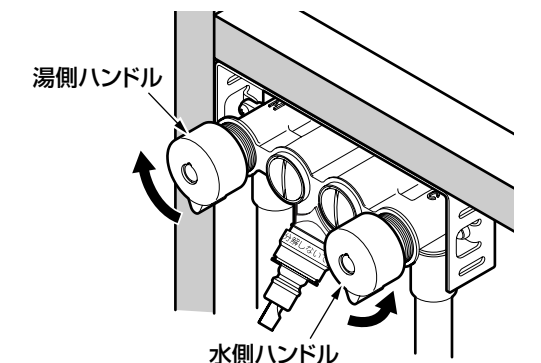
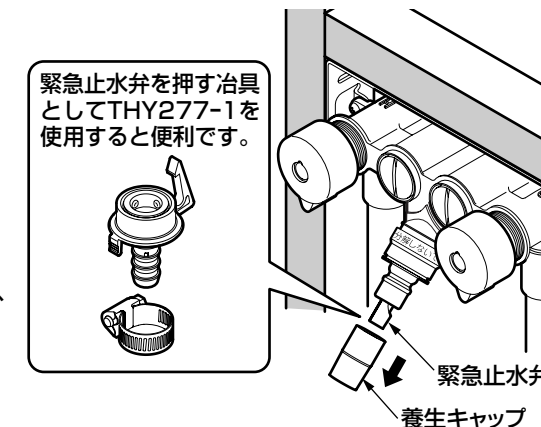
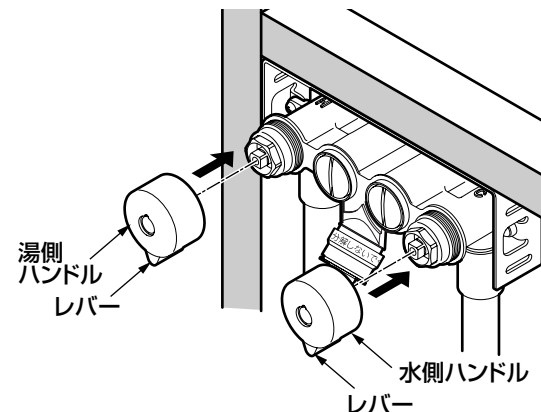
## 注意

耐圧検査は壁をはる前に必ず実施してください。  
壁をはったあと、耐圧検査で水漏れが発生した場合、壁をはがして接続し直さなければならなくなります。

⑤ハンドルを外し、養生キャップを差し込む。

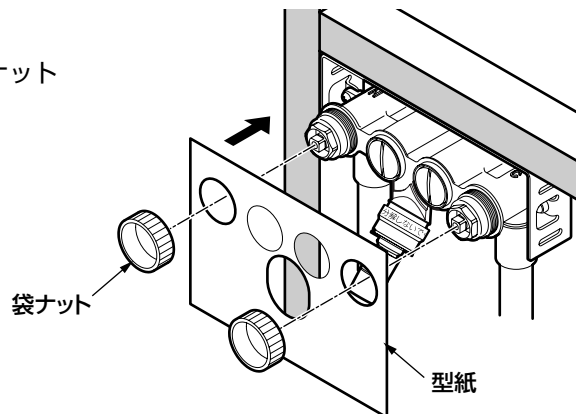
## 注意

養生キャップは壁をはったあとの作業再開まで取り付けておいてください。  
壁はり中に吐水口が傷つけられ、水漏れの原因になります。



## A6 型紙の取り付け

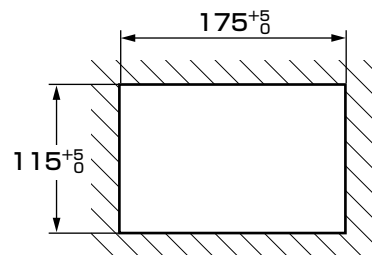
型紙を水栓本体に取り付け、袋ナット  
(2個)で固定する。



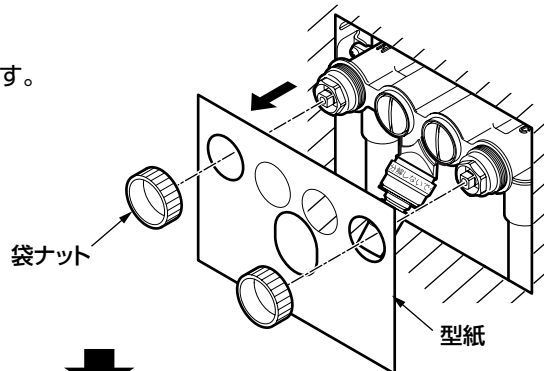
これで壁をはる前の作業は終了となります。水栓本体の養生に配慮ください。  
未施工部品は壁をはったあとの作業再開まで大切に保管しておいてください。

## A7 壁はりと穴あけ

①右図の寸法（型紙の外枠に沿って）  
で壁に穴をあけ、壁をはりつける。



②袋ナット(2個)を外し、型紙を外す。

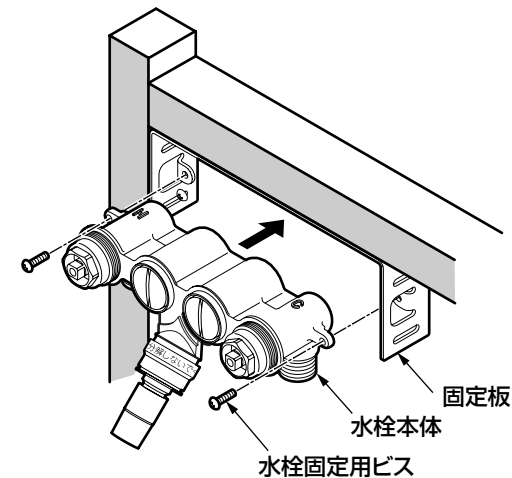


以後の作業は **6-6** - **8** へお進みください。

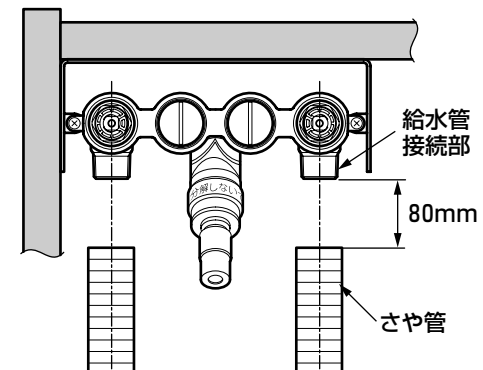
## B 『さや管』(内部樹脂管の更新性あり)の場合

## B3 さや管の敷設

①水栓固定用ビス(2本)を締め付けて、  
水栓本体を固定板に取り付ける。



②給水管接続部下端から約80mmの  
位置にさや管を敷設する。



## 注意

さや管は所定の位置に敷設して  
ください。

水栓本体が取り付けできなかったり、  
水栓本体に無理な力が生じて  
破損し、水漏れの原因になります。

## B4 型紙の取り付け

「**6-4** - **A6** 型紙の取り付け」と同じ要領で型紙を取り付ける。

これで壁をはる前の作業は終了となります。水栓本体の養生に配慮ください。  
未施工部品は壁をはったあとの作業再開まで大切に保管しておいてください。

## B5 壁はりと穴あけ

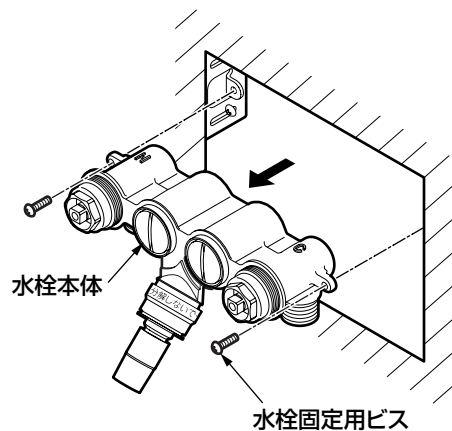
「6-4—A7 壁はりと穴あけ」と同じ要領で壁はりと穴あけを行う。

## B6 樹脂管の通管と水栓本体の取り付け

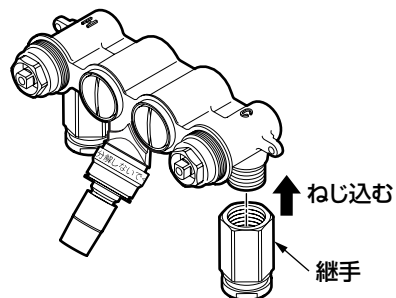
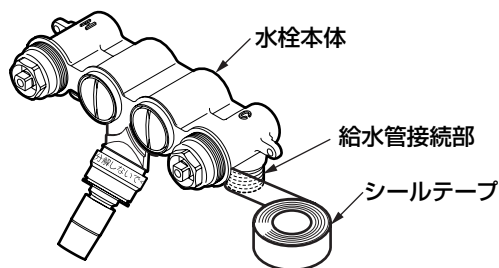
①水栓本体を取り外す。

## 注意

水栓本体を取り外す際は、水栓固定用ビスを壁裏側に落とさないように注意して取り外してください。



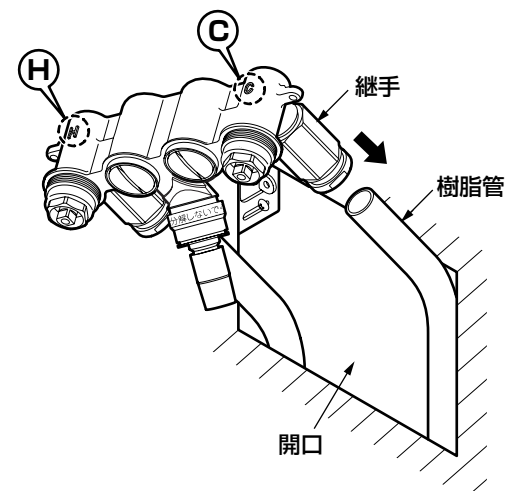
②水栓本体の給水管接続部にシールテープを巻き、継手をねじ込む。(2カ所)



③樹脂管を上流側（ヘッダー側）から通管して開口から室内側に引き出し、継手と接続する。

## 注意

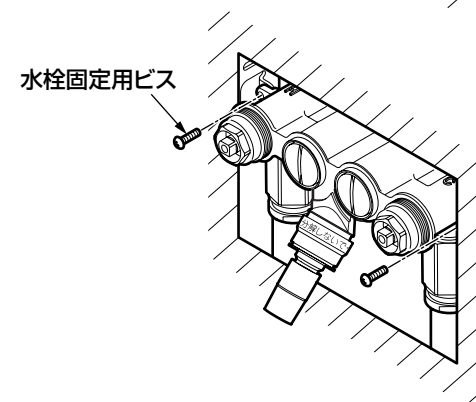
水栓本体に表示されているC（水側）・H（湯側）マークを確認の上、逆に接続しないように注意してください。やけどの原因になります。



④水栓本体を壁内に収納し、水栓固定用ビス（2本）を締め付けて、水栓本体を固定板に取り付ける。

## 注意

- 水栓本体はガタツキがないように強固に取り付けてください。ガタツキにより破損が生じ、水漏れの原因になります。
- 水栓固定用ビスを締め付けるときは、水栓固定用ビスを壁裏側に落とさないように注意して締め付けてください。



## B7 耐圧検査

「6-3—A5 耐圧検査」と同じ要領で耐圧検査を実施する。

↓

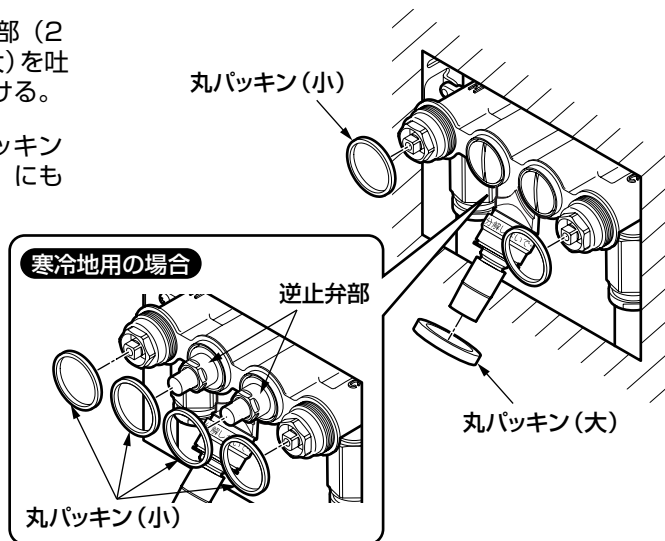
以後の作業は 6-6—8 へお進みください。



## 8 カバーの取り付け

①丸パッキン(小)をバルブ部(2カ所)に、丸パッキン(大)を吐水口部にそれぞれ取り付ける。

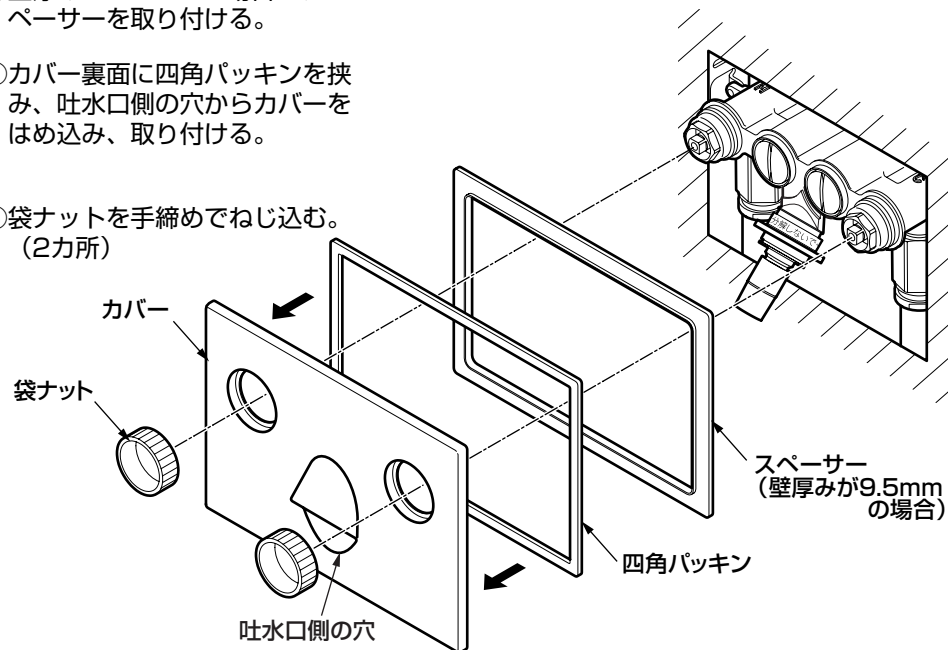
②寒冷地用の場合は、丸パッキン(小)を逆止弁部(2カ所)にも取り付ける。



③壁厚みが9.5mmの場合は、スペーサーを取り付ける。

④カバー裏面に四角パッキンを挟み、吐水口側の穴からカバーをはめ込み、取り付ける。

⑤袋ナットを手締めでねじ込む。(2カ所)

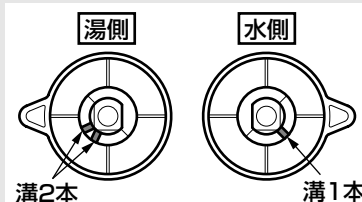


## 9 ハンドルの取り付け

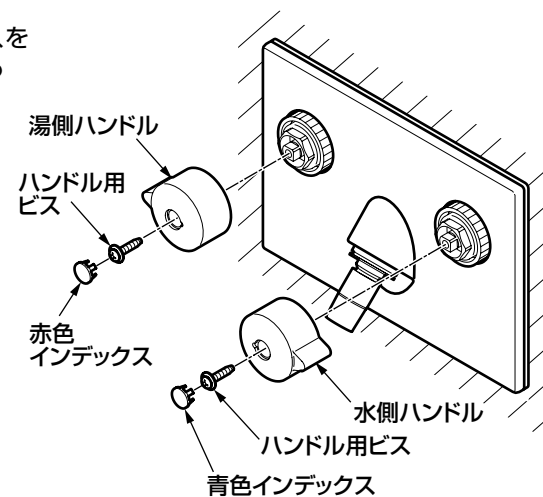
ハンドルを差し込み、ハンドル用ビスをねじ込み、インデックスを取り付ける

### 注意

●湯側ハンドルか、水側ハンドルかわからなくなった場合は、ハンドル裏の目印で判別してください。



●水側ハンドルに青色インデックスを、湯側ハンドルに赤色インデックスを取り付けてください。

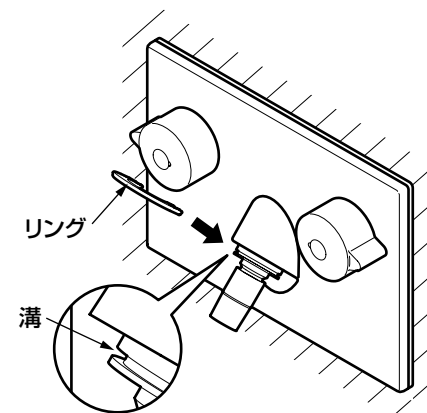
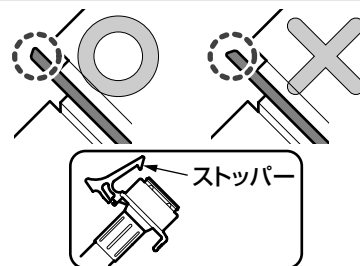


## 10 リングの取り付け

リングの方向に注意して、溝にリングを取り付ける。

### 注意

リングの方向に注意してください。逆に取り付けると、給水ホース継手のストッパーがリングに正しく取り付けられなくなります。



# 7

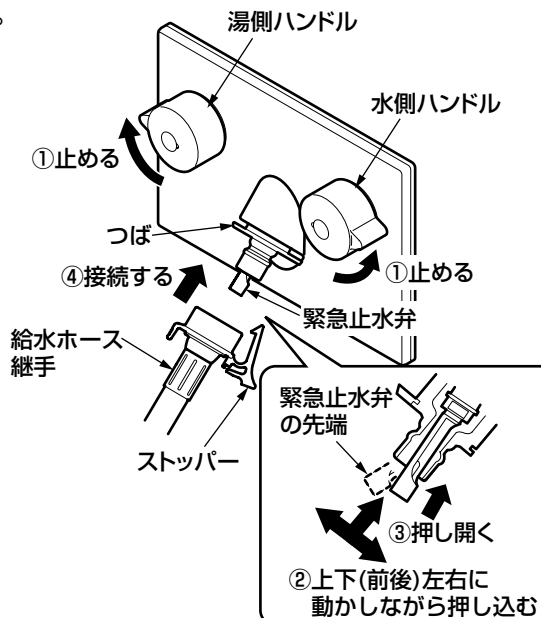
## 使用上の注意

この商品は緊急止水弁機構を搭載しております。  
以下の内容をお読みいただき、お客様に内容をご説明ください。

### 【緊急止水弁機構】

洗濯機などの給水ホースに接続されている市販の給水ホース継手が外れても、水圧とばねの力で水を止める機構です。この緊急止水弁は水圧がかかったままだと、給水ホース継手を接続しにくくなりますので、以下の要領で給水ホース継手を再度接続してください。

- ① ハンドルのレバーを「止」の位置まで回す。
- ② 緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下（前後）左右に動かしながら押し込み水圧を逃す。
- ③ 緊急止水弁を容易に押し開くことができることを確認する。
- ④ 給水ホース継手を接続する。
- ⑤ 給水ホース継手のストッパーがつばに引っ掛かっていることを確認する。



# 8

## 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① 固定板のガタツキはないですか？

↳ 6-1 6-2 - ②「固定板の取り付け」参照

② 水栓本体のガタツキはないですか？

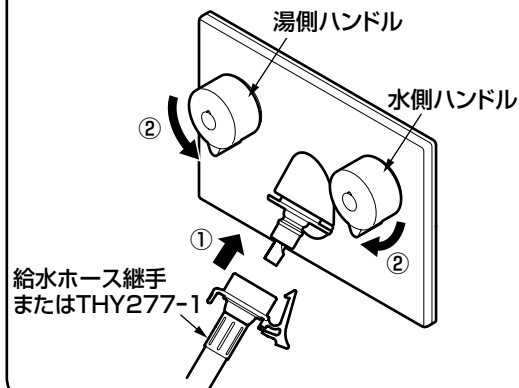
↳ 6-2 - A3「水栓本体の取り付け」参照  
↳ 6-5 - B6「樹脂管の通管と水栓本体の取り付け」参照

③ ハンドルのガタツキはないですか？

↳ 6-6 - ⑨「ハンドルの取り付け」参照

### 水出し確認

- ① 洗濯機に付属の給水ホース継手が当社のTHY277-1を接続後、配管部の元栓を開けてください。
- ② ハンドルのレバーを「開」の方向に回し、水が出るか確認してください。



### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

④ 給水管の水漏れはないですか？

↳ 6-3 - A4「給水管の接続」参照  
↳ 6-5 - B6「樹脂管の通管と水栓本体の取り付け」参照

## 9

# 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行ってください。  
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜き栓を開ける。

2. 湯・水両方のハンドルを「開」方向いっぱい回す。

3. 器具本体および水側配管内の水を抜く。

緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下(前後)左右に動かしながら押し込み、水側の水抜きボタンと同時に押し込んでください。

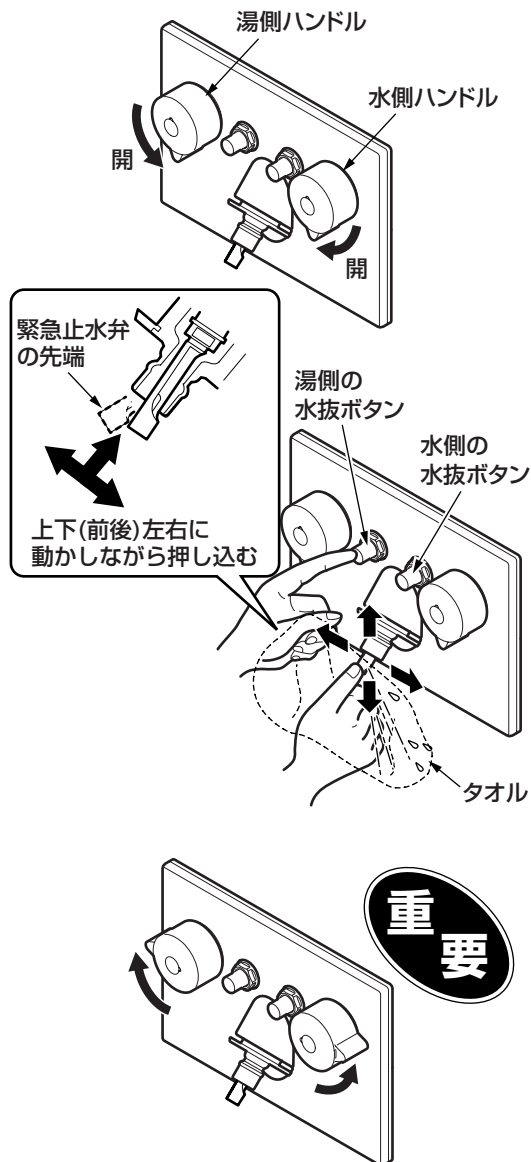
4. 器具本体および湯側配管内の水を抜く。

水側と同様に、緊急止水弁の先端と湯側の水抜きボタンと同時に押し込んでください。

緊急止水弁から水が出たあと、吐水口から空気を吸い込むことにより配管内の水を抜きますので、しばらく緊急止水弁を開いたままにしてください。

目安として一般の配管長(10m以内)では、30秒程度で水が抜けます。

5. 水抜き完了後は、必ず湯・水両方のハンドルを「止」の位置まで回す。(水が出ない状態)



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。